

2011年2月9日

ポーラ銀座ビルのウインドウを 若手アーティストの作品発表の場に活用

株式会社ポーラ（本社：東京都品川区、社長：鈴木 弘樹）は、2月9日よりポーラ銀座ビルのウインドウにて、画家の遠藤良太郎氏を起用したディスプレイ空間を展開いたします。遠藤良太郎氏はコンピュータのモニター上で描画した図像をキャンバスに出力し、その上に数力所絵具の筆触を描き足すという技法で注目を集めています。ポーラ・オルビスグループは、公益財団法人ポーラ美術振興財団を通じ、美術館職員の調査研究・美術に関する国際交流および若手芸術家の在外研修に対する助成事業を1996年から実施しています。今回の試みは、若手芸術家の在外研修に対する助成事業に関連して、東京銀座のメインストリートである中央通りに面したウインドウ空間を若手アーティストの作品をご紹介する場に活用しようというものです。

今回起用した画家の遠藤良太郎氏は、平成8年度ポーラ美術振興財団在外研修員として、イギリスで制作活動をしました。今回の作品は、柔らかな色彩から待ち遠しい春を感じ、心身ともに温まっていただけのディスプレイ空間として作り上げています。作品のタイトルは『時間を止めてよく見てごらん。/ゆき/・・・』です。ポーラ銀座ビルのウインドウスペースを活かして、遠藤氏の絵画作品を初めて3次元空間のアートとして表現します。

また、同ビル3Fのギャラリー「ポーラ ミュージアム アネックス」では『ポーラ ミュージアム アネックス展』として公益財団法人ポーラ美術振興財団在外研修員の中から選ばれた作家の展覧会を毎年開催しています。今年は3月26日から4月17日の開催予定です。年間を通して無料で本格的なアートを体験できるギャラリーとして多くの方々にご来場いただいています。

（詳細ポーラ ミュージアム アネックスHP：<http://www.pola.co.jp/m-annex/>）



タイトル『時間を止めてよく見てごらん。/ゆき/・・・』

遠藤良太郎（えんどう りょうたろう）

1967年 与野市（現さいたま市）生まれ

1997年 東京藝術大学大学院博士課程修了

1997年 公益財団法人ポーラ美術振興財団在外研修員として、イギリスで制作活動を行う。

2010年 「ポーラ ミュージアム アネックス 展 2010 -祝祭-」にて作品を展示。

現在、ベイスギャラリー（注1）を中心に活動するアーティストとして作品を発表している。

（注1）ベイスギャラリーは、1986年設立の現代美術画廊で、茅場町にあるギャラリーです。

【リリースに関するお問い合わせ】

株式会社 ポーラ・オルビスホールディングス 広報・IR室 Tel 03-3563-5540/Fax03-3563-5543